

第18号
平成26年10月

北野町連だより

夢とロマンのあふれるまち

発行者
北野地区町内会連合会
会長 飯田 淳二

題字 木村信也氏(南北野)

北野地区町内会連合会
会長 飯田 淳二

4月20日第32回北野地区町内会連合会総会が開催され、選考委員会でのご推薦を頂き不肖私が北野地区町内会連合会第6代会長として務めることになりました。

昨年11月にご逝去されました濱田会長の会長代行として私が務めて参りましたが、理事の皆様はじめ多くの方々にご指導、ご協力頂き感謝申し上げます。

昨年度は数回の会館改築委員会を開催させて頂きましたが、此の会館の完成も12月に見通しが立ち、まもなく引っ越しの準備を計画致しております。会館完成に併せ皆様のご協力を頂きました会館寄附金も計画通りに進んでおります。

今年度上半期の各行事も予定通りに進み、雨で始まった第24回「北野ふれあい夏まつり」でしたが、恒例の花火大会では雨も晴れ上がり無事に終える事が出来ました。あと残された下半期の計画に取り組んでまいりますので、皆様のご理解ご支援をお願い申し上げます。

平成26年度上半期を終えて

執行部役員

副会長 (総務担当) (新)	副会長 (財務担当)
伊藤 昭夫	梅山 忠
副会長 (福祉担当)	副会長 (事業担当)
一瀬 ヒロ	林 進一
監事	監事 (新)
石井 邦彦	鍛治 鐵夫

まちづくりセンターより



「みなさんと共に」

新センター所長 伊藤 誠

北野地区は、安全、福祉、子育て、環境などの分野で様々な取り組みが行われております。多くの方々の熱意や「ふれあい」あふれる活動が実り、たいへん住みよいまちになっていると実感しています。こうした、まちづくりの重要性や、大変さ、そして何より地域活動のすばらしさの体験をもとに、さらに北野が安心して暮らせるまちになるよう共に取り組んでいきたいと考えております。

北野地区町内会連合会の部長、単位町内会・自治会会長をご紹介いたします。	(部長) ※新……新就任
福社厚生部長	新梅山 忠
保健衛生部長	新高木 政昭
防災部長	新伊藤 昭夫
防犯部長	新山田 威洋
交通安全対策部長	新堀合 英喬
女性部長	新林 進一
青少年育成部長	新佐藤 光夫
体育部長	新平山 加代
民生・児童委員協議会会長	新河本タカ子
青少年育成委員会会長	新林 進一
北野連合会館運営委員長	新佐藤 幸子
日赤奉仕団北野分団長	新田中 積生
(町内会・自治会会長)	新一瀬 ヒロ
北野町内会会长	新北野町内会会长
東北野町内会会长	新赤石 浩
北野第二團地自治会会长	新秋川 和男
北野まきば町内会会长	新田代 和男
北野新和町内会会长	新秋山 雅使
上北野町内会会长	新宝利 豊
西北野町内会会长	新山崎 浩
八望台町内会会长	新敦子 浩
北野團地自治会会长	新和男
北野第一團地自治会会长	新菅原 豊
北野中央自治会会长	新新橋 雅使
北野第三團地町内会会长	新尾上 潤吉
北野グリーンタウン自治会会长	新近藤裕一郎
北野サンタウン自治会会长	新葛谷 昌春
北野6・4・1自治会会长	新沼沢 信吾
北野すみれ町内会会长	新新岡本 諒
北野すみれ町内会会长	新葛西 昌春
北野すみれ町内会会长	新杉谷 峰生
北野すみれ町内会会长	新晋弥 誠

第24回北野ふれあい夏まつり

雨の中大勢の人でにぎわう

第24回北野ふれあい夏まつりが7月26日（土）厚別川親水公園、夜の花火大会は中央公園で行われました。

曇り空の中、打ち上げ花火を合図に13時オープニングセレモニーが、新谷区長、区役所関係者、各議員の先生、小・中学校校長先生、諸団体の方々が列席の下始まり、次第に雨が激しくなりましたが予定通りプログラムを進める事ができました。

今年も北野ダンスキッズなど多くの皆様やきよっちはまつりを盛り上げてくれました。華やかな踊りで魅了してくれた北野ダンスキッズは50名程の小学生を中心に構成され、各催し会場で忙しく活躍されています。

例年同様、17町内会・自治会始め、中学生、諸団体の方々にボランティア活動として裏方の仕事をこなして頂き有難うございました。

花火の打ち上げ時刻には雨も上がり充分楽しんで頂いたと思いますが、この花火大会には多くの個人、企業、団体の皆様から協賛を頂いております。厚くお礼を申し上げます。

ふれあい夏まつりが更に喜んで頂けるよう皆様からご意見を頂き、企画してまいりますのでご理解、ご協力をお願い申し上げます。

ダンスキッズの皆さん
雨の中元気な踊り有難うございました。



子供も大人も池田屋の曲に合わせ踊りました。
きよっちは相变らず人氣です。



650発の花火が夜空を舞い2万人ほどの方々に楽しんでいただきました。



理事、代議員、町連役員 91 名で開催され、事業計画案を承認していただきました。



子供が楽しみにしていたヤマメ稚魚 1 万 5000 匹を小雨の中、厚別川の親水公園で放流しました。



行政を含む地域の関係者が集まり、まちづくりに関する情報を共有し、共に交流を図りました。



札幌弁護士会の石川和弘弁護士の「地域福祉活動と個人情報」の講習に 49 名の方々が参加されました。



町内会・自治会 580 名と中学生、高校生 50 名のボランティアが参加致しました。



今年の当番地区である北野から 120 名、北野平小学校全児童 286 名を含め 500 名が北野平小学校グラウンドに集結致しました。



清田公園サブグラウンドに選手、応援団 86 名が参加、4 チームに分かれて熱戦がくり広げられました。



清田通で北野小学校の児童約 380 名を含め、総勢 550 名が参加して、ドライバーに安全運転の啓蒙を行いました。

後期業

- 第26回青少年音楽のひろば
- 新連合会館完成・移転
- 北野地区新年交礼会

(26. 12月)
(26. 12月)
(27. 1月)

- 新連合会館落成式
- 新春子どもカルタ大会
- 一人暮らし高齢者夕食宅配

(27. 1月)
(27. 1月)
(27. 3月)



今こそ、「地域の目」

厚別川の堤防を、一人の女性が傘を持ち、室内履きのまま足早に歩いているのを見かけました。明らかに施設から抜け出した徘徊者とわかりましたので、車を降りてお声をかけ、車に乗せようと促しましたが、女性は嫌だといい、施設では「監禁されている」と訴えます。近くの施設に連絡すると入居者とわきました。職員の方々も探しておられ、無事に帰っていましたが、徘徊するご家族を在宅で介護していると、気が休まらず、つい鍵をかけてしまうという話をよく聞きます。

福祉のまち推進センターには中学生、高校生を含め400名程の認知症サポーターが登録されています。また「北野のまちを安心して楽しく徘徊できる福祉のまち」にすることを目指しています。

今こそ、他人事ではなく地域の皆様のやさしい目がほしいのです。そして、その目を子どもたちにも向けましょう。不審者から子どもたちを守るもの、やはり地域のたくさんの方なのです。



火災警報器配布モデル地区となって



全国消防機器協会の火災警報器無料配布事業に応募し、福祉のまち推進センターに100器の警報器がとどきました。まだ設置していないというご家庭を募集し、70器程の申し込みがありました。あとわずかですが、残りがあります。
※再度募集いたします。ご希望される方は
福まち推進センター

TEL 885-0294 一瀬まで

新会館の完成間近か

全面改築について

北野連合会館は、昭和57年の建設から30年を経過し老朽化が進んでいたことから、安心して快適に使用できるよう改築工事を進めています。

新会館は、昨年度の意見交換会で寄せられたご意見が活かされ、その姿を見せ始めました。

<新会館のポイント>

- ・誰もが気軽に集うことができる活動の拠点
- ・様々な使いができる、ふれあいの空間
- ・1階で120人が会議できる大集会室
- ・隣の音を気にせずに使える機能的な集会室



<改築の予定>

- | | |
|-------|------|
| 6/30 | 着工式 |
| | 地鎮祭 |
| 12/16 | 竣工予定 |
| 12/25 | 検査完了 |
| 12/26 | 引越し |
| 1/25 | 落成式 |



高齢化社会に対応した新会館を

地域の高齢化が進んでおり、高齢者や障がいのある方にも使いやすい施設にします。また地域の見守り活動など福祉活動がますます重要になりますので、地域の拠点として、気軽に立ち寄ることのできる会館にします。

備品等の購入について

市や公益財団法人の各種助成金を最大限活用する予定です。さる9月26日、中央競馬馬主社会福祉財団に申請していた助成金約100万円の交付が決定し、贈呈式がありました。



左（前）青少年育成副部長
飯島 優佳
右 事業担当副会長 斎藤 唯太

北野まきば町内会
会長 近藤裕一郎

若者の参加で町内会が明るく

昨年、まきば町内会は高校生を役員に加え、更に今年は大学生を副会長に据えました。大きな冒険でしたが活動が滞ることもなく、むしろイベントの企画や運営を通して様々な世代とふれあい、「町内会が明るくなったね」と声を掛けられ励まされたことは、彼らにとって大きな喜びであり、多くの会員にとっても町内会活動に目を向ける良いきっかけになったのではないかと思います。

役員の高齢化や担い手不足は深刻な問題ですが、創意と工夫によって解決の糸口は必ず見つかると信じます。今回の試みで、そのための一石は投じたのかな、と感じています。

地域の支え合い活動と充実を目指して

一瀬ヒロ 委員長がシンポジストに

平成26年9月17日札幌市民ホールにて札幌市地域福祉市民活動フォーラムが行われました。第1部の基調講演は関西学院大学の牧里毎治教授が①地域のネットワークの機能と意味②地域ボランティアの役割などを講演され、第2部のシンポジウムには福祉のまちづくりセンターを代表して北野地区の一瀬ヒロ委員長、町内会を代表して南区野々沢町内会 吉田賢治会長が発表されました。

一瀬委員長は北野地区福祉のまち推進センターが取り組んできた歴史を創成期（平成5～8年）拡大期（平成9～20年）転換期（平成21～23年）充実期（平成24年～）に分け説明、今後の高齢者、要援護者、障がいのある方と地域活動の支援、支え合い活動などを発表致しました。

今、高齢化社会へ向け課題が山積していますが、高齢者にとって活躍の場を広げ、仕事や地域活動で社会貢献することは生きがいとなり、介護予防にも役立つと思います。1300名程の来場者から大きな拍手と共にフォーラムは終了致しました。

